

年末年始の交通安全県民運動にむけて 高齢者交通事故防止啓発チラシを徳島県警察に寄贈 ～薄暮・夜間の外出時の反射材の活用を徳島県民に啓発～

日本損害保険協会 中国・四国支部 徳島損保会（会長：三井住友海上火災保険株式会社 四国東支店長 藤本篤嗣）では、年末年始の交通安全県民運動（2025 年 12 月 10 日～2026 年 1 月 10 日）にあわせ、12 月 10 日（水）に高齢者交通事故防止啓発チラシ 3,000 部を徳島県警察に寄贈しました。

日が暮れるのが早くなるこの季節は、道路横断中の歩行者、特に高齢者が巻き込まれる交通事故が多発することを踏まえ、少しでも交通事故の削減につながることを願い、実施したものです。

今回寄贈した高齢者交通事故防止啓発チラシには反射シールを貼付しており、チラシによる啓発だけでなく、実際に反射シールを活用いただき、その効果を実感いただけるように工夫しています。

また、当日は、寄贈式に続き、徳島県警察と損保関係者 13 人が参加し、徳島市内のスーパーマーケット ハローズ万代店で実施した交通安全の啓発活動において、来店された県民に同啓発チラシ 150 部を手渡ししながら、薄暮・夜間の外出時には交通事故に遭わないように反射材等を着用するよう呼びかけました。

当支部では、引き続き各県警察や行政機関等と連携しつつ、交通事故死ゼロに向けて、地域住民の交通安全意識の向上を図るよう、交通事故防止啓発を推進して参ります。



寄贈式（左：南谷 参事官兼交通企画課長、
右：藤本 徳島損保会長）



寄贈式（左：南谷 参事官兼交通企画課長、
右：藤本 徳島損保会長）



反射材の活用を訴える藤本損保会長



反射材の活用を訴える徳島県警察



反射シール付き高齢者交通事故防止啓発チラシ

※チラシは以下 URL よりダウンロードいただけます。

<https://www.sonpo.or.jp/report/publish/koutsu/g3410i0000006yfa-att/seniordrivers04.pdf>